

様式 8

事業実績報告書

(団体名 合唱構成♪ぞうれっしゃがやってきた♪葛城市民上演実行委員会)

事業名	合唱構成♪ぞうれっしゃがやってきた♪上演
実施した場所	新庄文化会館マルベリーホール
参加者・実施回数等	平成22年8月1日合唱団結団式。以後15回の練習、3回のリハーサルを経て、上演を実施。当日出演団員161名、観客805名。
実施した内容	<p>平成23年1月23日(日)            合唱構成♪ぞうれっしゃがやってきた♪上演            ・プログラム</p> <p>オープニング 新庄中学校吹奏楽部演奏            1 部 新庄北幼稚園園児 和太鼓演奏            2 部 チーム白鳳 踊り            3 部 合唱構成♪ぞうれっしゃがやってきた♪</p> <p>(活動経過)            ・3月 準備会設立。・6月 合唱団員募集開始。            ・7月 実行委員会発足 各種団体へ賛同要請            ・8月 結団式。・11月 ポスター等配布 1月 上演</p>
得られた効果	<p>○平和への願いをテーマにした本曲を、上演、及びそれまでの活動を通して多くの市民に知らせることができた。</p> <p>○団員、観客が共に感動し、合唱を通じて改めて平和への願いを熱いものとした。</p> <p>○本市の中に、人々の幸せと世界の平和をテーマとする文化を創り出す新たな市民活動が第一歩を踏み出す。</p>
今後の展望	<p>合唱団内外にこれで終わるのはもったいない、との声が多く聞かれ、今後は「葛城ぞうれっしゃ合唱団」(仮称)として活動していくことを団員総意で決定する。今後の活動内容等についてはじっくり検討していきたい。</p>
事業を実施してみた感想など	<p>この事業の最初は、ほんの数人の呼びかけから始まった。人が人を呼び、一人、二人と増えていき、やがて大合唱団が生まれ、あれほどまでの観客において頂き、会場全体が大きな感動に包まれた。多くの方々の応援、そして本市を始めとする多くの団体のご支援の結果と実感するところである。</p>

様式8

事業実績報告書

(団体名：日の谷水車蕎麦の会 )

事業名	日の谷水車蕎麦の会
実施した場所	
参加者・実施回数等	そば打ちイベント 53名 そば育成 15名 水車小屋周辺の整備 15名
実施した内容 (詳しく記入して下さい)	<p>8/22 } 9/23 } そば打ちイベント (計3回) 38名 11/14 }</p> <p>8/8 そば田に牛糞散布 4名 8/29 そばの種まき 水車小屋の土手に花を植える (スイセンほか) 婦人部13名</p> <p>11/10 そばの刈り取り 12/19 そばの実をふるいにかける 5名</p>
得られた効果	<p>そば打ちイベントを通じ、全員が共同して事業をやろうとする意識が高まった。</p> <p>そば育成の難しさがわかった。特に猪の被害と天候。</p> <p>小屋の廻りの美化意識の高まりと、今後に向けての花の育成を楽しみにしている。</p>
今後の展望	<p>そばの活用・イベント・そば打ち・加工及びそばコミュニケーションの広がりを楽しく共同でしていく。</p> <p>環境の美化は、みんなで取り組まないと出来ないことを体験を通じて推進する。</p>
事業を実施してみた感想など	<p>そばを生かした村落の活性化の方法の確立</p> <p>早急にそば打ち小屋の完成</p> <p>共同してやって行くには、時間の調整が難しい。</p>

※この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

様式8

事業実績報告書

(団体名：葛城市きてみてネット )

事業名	ウェルカム・トゥ・葛城市 (Welcome to KATSURAGI CITY)
実施した場所	葛城市きてみてネット事務局 他
参加者・実施回数等	理事会、役員会 1回 (参加者4名) 実務委員会 3回 (参加者各3名)
実施した内容 (詳しく記入して下さい)	<p>会員の中より、写真・デザイン総合、文章、翻訳などを担当するものを選出し、実務チームを作った。</p> <p>実務チームで複数回、具体的な内容の検討会を行った。</p> <p>ただ、申請時は、法人が発足して間もなかったため、収支予算は見込み額で申請したが、その後、収入が目標額に達せず、当初予定していた法人負担分の捻出と今年度内の完成が困難となった。</p>
得られた効果	パンフレット作成の具体的な作業を通して、ボランティアの活動に対する会員相互の取り組みが再認識できた。
今後の展望	予算の見直しをして、実施する。
事業を実施してみた感想など	当法人は発足間もないため、今回の事業を通して、会員それぞれが互いを知ることができてよかったと思う。予算の見通しの甘さなども勉強になった。

※この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

事業名	竹内街道流域におけるホタルの保全復活活動
実施した場所	竹内街道流域河川（熊谷川）
参加者・実施回数等	参加者：竹内の住民 参加延人数：113人 実施回数：23日間
実施した内容 （詳しく記入して下さい）	竹内集落の西側である金剛生駒紀泉国定公園内を源とし、下流は大和川まで流れ込む熊谷川流域の山間地域は、竹内区の自然的資源が凝縮されている地域であります。この地域は私達が小さい頃はみごとにホタルが飛びつておりました。しかし近年、このすばらしい地域資源である自然は荒れ放題になり、ホタルなどの生き物が住みにくい環境と変わり果ててきました。そこで、再びホタルが飛び交う地域になるよう昔の自然豊かな地域に戻そうと、まず最初のステップとして、この熊谷川流域の清掃にとりかかりました。上流側約500mからとりかかり、流域の荒れた農地を再生し、又、流域に生い茂っていた草や竹、雑木を撤去しました。又、現在、河川は三面張りの水路が多いので、コンクリートの法面にこけが生えている所を確認したり、ホタルの幼虫やホタルのえさであるカワニナが生息しやすいように河川床の泥を撤去したり、幼虫が孵化しやすいように水が行き渡るような工夫もしました。
得られた効果	地域資源の中心的役割を果たす河川が見事に生き返ったことにより、そこに住むホタルはもとより沢がにや小さい小魚が住みやすい環境が整備され、その流域の植物もよみがえってきました。雑木や竹を整備したことにより、日光もよく当たるようになり、緑豊かな河川流域となりました。
今後の展望	昔のような自然豊かな地域とは、いかに流域の環境を整備することがどれだけ大事であることが再認識され、この環境をいかに維持することが、ホタルなど昔ながらの動植物を守ることであるがわかってきました。今後としては、この自然にいかにホタルがいかに住み続けられる自然を維持することである。
事業を実施してみた感想など	人工的に再生された河川をいかにホタルなどの動植物をよみがえらせる自然に戻すには、いかに自然に近い状態をいかに維持するかである。尚、活動は実施途中であり、次年度においても活動を続行するものである。

※この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。